

二十歳を迎えて

小林 瑠花



この度、晴れて二十歳という人生の節目を無事迎えることができました。この日を迎えることができたのは、お世話になった先生方、たくさんの思い出を共にした友人、そして今までどんな時もそばで愛情をもって育ててくれた両親や家族、多くの皆様の支えがあったからこそだと思います。皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

私は今、小さい頃からの夢である「保育士」になることを目指して大学での勉強に励んでいます。ピアノを習っていたことをきっかけに「大好きなピアノを活かして子どもたちと音楽を楽しみたい。」そんな思いから保育士になることを目指しました。大学での実習を全て終えた今、子どもたちを保育するのは決して簡単なことではないと実感しましたが、その分、子どもたちの成長を感じられる場面や、やりがいを感じることも多くありました。この経験を通して一人一人に寄り添った保育をし、子どもだけではなく保護者からも信頼されるような保育者になれるよう、残り少ない大学での勉

学に力をいれていきます。

また、私が今まで保育士になることを諦めなかったのは家族の存在があったからです。初めは好きだけでは難しいと反対されていましたが、今では一番の味方であり誰よりも応援してくれています。そんな家族の存在があったからこそ、私は諦めず今も夢に向かって頑張ることができています。嫌なこともたくさんありますが家に帰れば家族がいてどんな些細なことでも笑い合える、そんな温かい家族が私の一番の拠り所です。当たり前だと感じていることも二十歳になった今、決して当たり前ではないのだと様々な経験を通し実感しました。私はたくさんの方に支えられて今があります。その感謝を忘れず、今を大事に、これからのまた新しい人生を精一杯歩んでいきたいと思います。